

あおり教育フェスタの  
発表内容の一部について、  
紹介していきます！



こんな研究しています！

文責 研究委員会委員長 木村 浩

あおり教育フェスタ2017

研究員研究発表のご案内

☆発表日時：11月24日（金）発表順番3番

★発表場所：産業教育研修室

11月24日（金）ポスター展示 第1研修室

11月25日（土）ポスター展示 中研修室

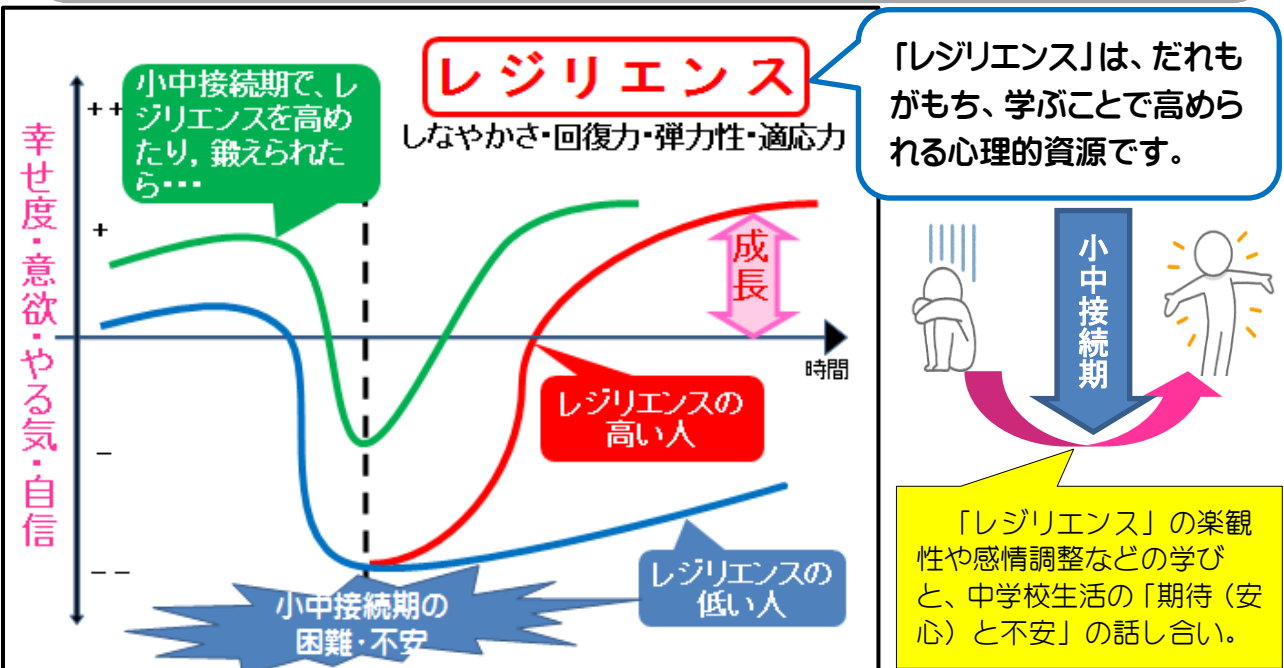
教育相談課 研究員 戸末 浩之



学校や教師間だけでなく、児童生徒自身が小中のつながりを考えます。

## 小・中学校間のなめらかな接続を図るためのレジリエンスを生かした指導の在り方

小学校から中学校への進学には、新しい学校環境や対人関係への適応が求められます。私の研究では、不安や困難な状況の中で落ち込んだ心を回復させたり、しなやかに適応したりする心理的資源「レジリエンス」を児童生徒が学ぶことで、小中接続期の環境変化に適応できることを目指しました。



児童生徒の感想

- ・中学校生活は不安だらけでしたが、レジリエンスの勉強をして不安が期待に変わり、少しでも中学校生活が楽しみになりました。（小6：卒業前の感想）
- ・最初、中学校生活が不安だったけどレジリエンスを学習していくと、いろんなことが楽しく考えられるようになって、レジリエンスはすごいなと思いました。（中1：1学期末の感想）

あおもり教育フェスタ2017

研究員研究発表のご案内

☆発表日時：11月24日（金）発表順番1番

★発表場所：中研修室



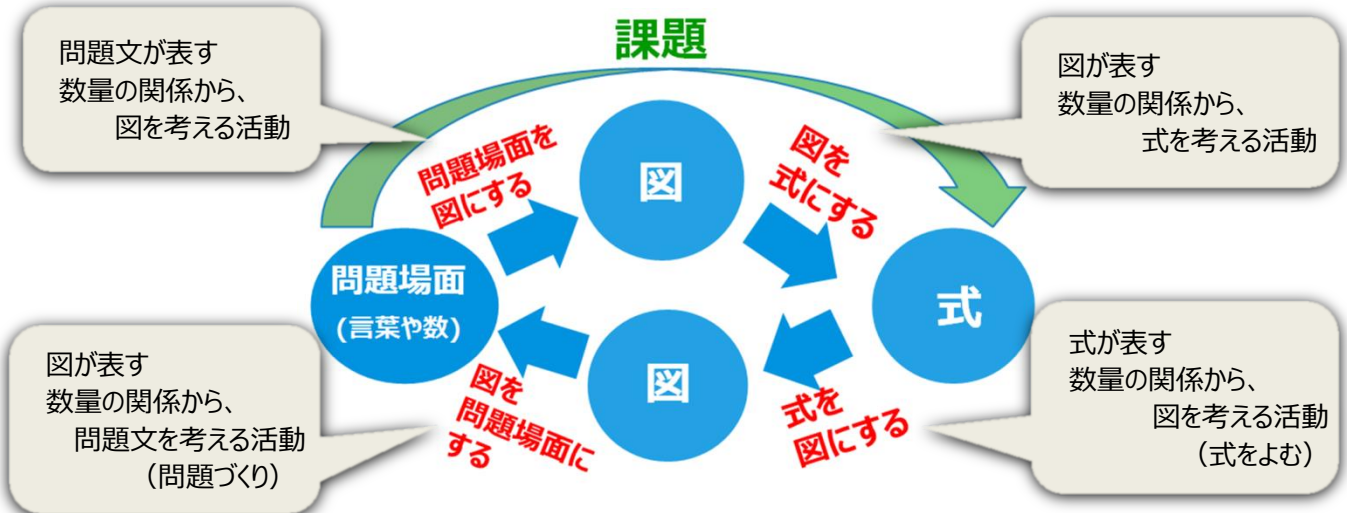
発表テーマ(小学校 算数)

**小学校第5学年「小数×小数」「小数÷小数」において、  
問題場面の数量の関係を捉え、図や式に表すための指導法の研究  
—言葉や数、式、図を関連付けて考える四つの活動を通して—**

自分のこれまでの指導では、特に小数のわり算の問題場面で、かけ算の式で表したり、わる数とわられる数を反対にして式に表したりするなど、数量の関係を正しく捉えられない児童が多くいました。何とかこの課題を改善できないかと思い、この研究に取り組んでいます。

課題を改善するために・・・

**「言葉や数、式、図を関連付ける四つの活動」を  
単元内に意図的・計画的に設定して授業を行いました。**



(児童の感想)

- 迷ったときは図を使えばすらすらとかけたので、これからもわからなかったら図を使いたいです。
- この勉強をする前は、図をかくのが苦手だったけど、勉強をしてから図をかくのがはよくなりました。
- 式と図から問題を考えると、式と図と問題がちゃんとつながり式の意味がわかりやすくなったし、楽しかったです。



内容の詳細は、あおもり教育フェスタ2017でお伝えします！

あおもり教育フェスタ2017

平成29年11月24日(金)・25日(土)

KonKen 作成担当 産業教育課 石田 尚将 電話 017(764)1994